



UNODC・JICA・海上保安庁の連携による 能力向上支援(結果概要)

～関係機関間の相互理解の促進及び

フィリピンとマレーシアとの関係強化に貢献！～

海上保安庁は、9月10日(土)から9月25日(日)までの間、外国海上保安機関に対する能力向上支援の専従部門「海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)」2名を国連薬物犯罪事務所(UNODC)及び独立行政法人国際協力機構(JICA)の枠組みでインドネシアに派遣し、フィリピン沿岸警備隊(PCG)及びマレーシア海上法令執行庁(MMEA)職員に対する能力向上支援を実施しました。

1 実施項目

- ・制圧に関する講義・実技
- ・VBSS訓練(船舶移乗・立入検査)

2 結果概要

本能力向上支援は、UNODCがインドネシア・バタム島においてPCG及びMMEAに対して実施する研修訓練にあわせて、UNODC及びJICAの事業の枠組みを活用して実施したものです。

制圧に関する講義・実技及びVBSS訓練(船舶移乗・立入検査)では、積極的に繰り返し実技を行う姿が見られる等、より実践的で効果的な研修となりました。また、本能力向上支援では、UNODC講師と今後の能力向上支援における可能性についても活発な意見交換を実施しました。海上保安庁は国際機関とも連携しながら、引き続き、各国海上保安機関への能力向上支援を行ってまいります。

※国連薬物犯罪事務所(UNODC)とは、国際連合の機関であり、薬物規制と同犯罪対策・調査・統計や組織犯罪等に係る対応を実施している他、国連加盟各国の法執行機関等への助言や司法制度整備支援、法執行能力向上支援を実施しています。

※海上保安庁は、平成30年度から、UNODCからの協力依頼に基づき、法執行能力向上に係る研修実施に協力しています。なお、本プログラムは、新たな試みとして、当庁、UNODC及びJICAの三機関が連携して能力向上支援を実施しました。



MCT による講義



制圧の実技指導



VBSS 訓練（身体捜検）



VBSS 訓練（搬送法展示）



VBSS 訓練（夜間・証拠保全）



参加者集合写真